



ウクライナの避難民支援活動をする坂本さんへの
応援動画を撮影する生徒たち

ウクライナ避難民支援

文化祭の物販利益寄付

南木曾町の蘇南高校(149人)の生徒たちが、文化祭「蘇峡祭」の物販企画で得た利益2万1388円を、ウクライナの避難民支援活動に取り組む坂本龍太郎さんへ千曲市出身へ寄付した。全校集会でこのほど、坂本さんから届いたビデオメッセージを観賞し、平和について考えた。
(大嵩崎慧)

2万1388円活動応援動画も

蘇南高

物販の利益について「困っている人たちは」
物販の利益について クライナの隣国ポーランドで日本語学校の教

頭を務め、避難民支援をする坂本さんを小川幸司校長が紹介した。全校集会では、坂本さんが生徒たちに向けた約9分のメッセージが流れた。避難民への各国の支援は徐々に縮小し、再び帰国せざるを得ないケースもあると伝えた。戦況が悪化を続ける中、復興も含め未来を担う生徒たちが「平和に関心を持ち続け、日本からは何ができるか考え続けてほしい」と呼び掛けた。
坂本さんへの応援動画も撮影した。生徒会長の上野香奈莉さん(3年)は「私たちが若い世代が平和の担い手にならなければいけないと感じました」と伝えた。応援の掛け声の音頭を取った応援団長・上田愛斗君(同)は「自分たちが平和な学校生活を過ごせることを大切に思いながら、ウクライナの問題を考えていきたい」と話していた。(大嵩崎慧)